

(2)生涯学習

目指すべき姿

一人ひとりが 学びを通して成長し みんなが輝くまち 千葉市

計画目標

新しい時代の市民の学びを支え、
生活や地域・社会に生かし、
多様な主体と連携・協働を図り
持続可能な社会を形成できる環境をつくる

「成果指標」における「達成状況」の記載について

令和5年度実績値の状況により4段階に分類

区分	説明（成果指標の達成状況基準）
◎	R5 実績値が中間目標値（R9）以上であるもの
○	R5 実績値が中間目標値（R9）に向けて水準が上昇しているもの
△	R5 実績値が現状値（R3）と同水準にあるもの
×	R5 実績値が中間目標値（R9）に向けて水準が上昇しておらず、課題の見えるもの

「アクションプラン」における「進捗状況」の記載について

令和5年度実施状況により4段階に分類

区分	説明（計画事業の進捗状況基準）
順調	計画に対し、概ね計画どおり進捗しているもの。
遅れ	計画に対し、事業進捗に遅れが出ているもの。
休止	事業を休止し、今後再び実施する予定のもの。
中止	事業を中止し、今後も実施しないもの。

1 学習活動のきっかけと場の提供

基本施策 1-1 生涯学習の普及啓発

施策の方針

- 市民に学びの楽しさ、大切さに興味・関心を持ってもらえるよう、様々な機会を活用して情報を発信し、学習のきっかけづくりにつなげます。

成果指標

担当課： 生涯学習振興課、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、
埋蔵文化財調査センター、中央図書館管理課

No.	成果指標	当初 (R3)	実績 (R5)	中間目標 (R9)	達成状況
1	生涯学習イベント延べ来場者数	30,343 人	59,429 人	83,400 人	○

※生涯学習センター、科学館、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、埋蔵文化財調査センター、図書館
のイベント延べ来場者数

〈成果指標の分析〉

No.	達成状況に対する現状分析	今後の取組み等
1	新型コロナウイルス感染症対策の緩和により、制限していたイベントや市民講座を再開したことにより、来場者数が増加しました。	引き続き、新たな来場者の獲得に繋がるよう、イベントや市民講座を企画・実施します。

アクションプランの進捗

No.1 学習のきっかけづくりとなる生涯学習イベントの開催

担当課：生涯学習振興課、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、埋蔵文化財調査センター
中央図書館情報資料課、各地区図書館

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	まなびフェスタ【継続】	・まなびフェスタを開催（12月2日、3日）	順調
2	公民館文化祭【継続】	・公民館文化祭を44館で実施	順調
3	科学フェスタメインイベント【継続】	・千葉市科学フェスタ2023を開催（10月7日、8日）	順調
4	縄文春・秋まつりなどのイベント内での実施【継続】	・縄文春まつりを開催（5月4日、5日） ・夏休み縄文ウィークを開催（7月19日～7月22日） ・縄文秋まつりを開催（10月14日、10月15日は荒天中止・体験学習のみ実施） ・縄文ひろばを開催（毎月第2、第4日曜日） ・体験プログラムを実施（毎週土・日・祝日）	順調
5	郷土の歴史に興味を持つきっかけづくりとなるイベントの実施【継続】	・鎧の試着体験を実施（毎月第3土曜日（8月・11月を除く）） ・むかし遊び体験を実施（毎月第2土曜日） ・火縄銃演武を実施（8月20日） ・鎌倉騎馬武者体験を実施（11月11日）	順調
6	まいぶん古代体験教室【継続】	・勾玉づくり体験を実施（7月～3月までに13回）	順調
7	市民講座、企画展示等の実施【継続】	・市民講座を実施 15回実施 参加人数 435人 ・企画展示を実施 344回 ・読書まつりを開催 来場者数 5,232人 ・おはなし会（定例）を開催 654回実施 参加人数 5,591人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.1 学習のきっかけづくりとなる生涯学習イベントの開催

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	市民が日頃の学習活動の成果を発表し、相互学習の場、交流の場とするとともに、生涯学習活動の普及・啓発を図りました。	生涯学習の意義や学びの楽しさを伝える機会として、継続的に取り組みます。
2	前年度は新型コロナウイルス感染症のため開催を見合わせていた公民館もありましたが、5 類移行に伴い、全 47 館のうち隔年開催の 3 館を除く 44 館で文化祭が開催されました。一部の館では発表の様子を YouTube にアップロードするなど、オンラインを活用した取り組みも行われました。	次年度以降も市民の学習成果の発表の場として、また生涯学習の意義や学びの楽しさを伝える機会として、継続的に取り組みます。
3	コロナ感染症の影響も沈静化し、昨年度以上の出展団体が科学体験ブースや科学実験・工作教室を催しました。オンラインコンテンツの充実により、出展団体の活動の様子を動画で PR したり、様々なプログラムを紹介したりすることでイベント後も持続的に科学に接する機会を提供しました。	市民が日常生活の中で科学・技術を身近に感じることでできる総合的な科学・技術の祭典として、継続的に取り組みます。 また、ホームページや SNS を活用し、積極的に情報発信していきます。
4	各種イベントを開催し、気軽に学習・体験できる機会を提供しました。参加者からはおおむね好評いただいており、縄文時代や加曽利貝塚に関心を持ってもらうきっかけとなっていると考えられます。	今後も継続してイベントを開催し、楽しみながら縄文文化を学ぶことでできる機会を提供していきます。
5	イベントで体験することにより郷土の歴史への興味関心を持ってもらう機会となりました。	令和 6 年度下半期から令和 7 年度上半期にかけて休館の上、展示リニューアルを行うため、その間のイベントは中止となりますが、リニューアル以降も多くの人々に興味関心を持ってもらうためにイベントは有効であることから、学びにつながる工夫をしながら継続していきます。
6	埋蔵文化財に興味・関心をもってもらえる機会を提供しました。	埋蔵文化財に興味・関心をもってもらえる機会として、継続的に実施していきます。
7	令和 5 年 5 月から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが 5 類感染症に変更されたことに伴い、制限していた市民講座の実施数をコロナ禍前に戻してきており、総参加人数が増加しました。 様々な講座を開催し、講座に関連するテーマの企画展示を行い、関連資料の貸出を行いました。 企画展示及びタイムリーな話題に対応するミニ展示を実施しました。企画展示に併せて関連する資料の購入を行い、展示・紹介する資料の充実に努めました。また、展示・紹介することによって利用促進を図りました。	市民講座等、コロナ禍以前の水準まで実施数・参加人数等を拡大していきます。 市民講座や読書まつりの参加人数や来場者数を維持しつつ、企画展示実施数の拡大に努めます。

アクションプランの進捗

No.2 学ぶ場と学ぶための情報提供の充実【拡充あり】

担当課：生涯学習振興課、中央図書館管理課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	SNS等の活用、市以外が実施する講座情報の収集・提供【継続】	・X等で講座情報発信 ・パンフレット等の案内情報の配布・閲覧	順調
2	SNSを活用した講座情報の提供【拡充】	・千葉市公民館の公式Xを開設	順調
3	SNSを活用したイベントの配信【継続】	・XやFacebookを活用し、企画展示やイベント等に関する情報発信	順調
4	オンラインを活用した科学館リニューアル展示の紹介【拡充】	・YouTube「千葉市科学館」で14コンテンツを配信（R4から2コンテンツ追加）	順調

〈アクションプランの分析〉

No.2 学ぶ場と学ぶための情報提供の充実【拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	X等のSNSを活用し、効果的に講座情報を発信しました。 生涯学習広場にて、近隣大学等の講座情報や資格取得に関する情報を提供しました。	近隣大学等の講座・イベント情報を収集し、SNSや生涯学習広場で情報発信をするなど継続的に取り組みます。
2	一部の公民館で、SNS（Twitter、Facebook）を利用した情報発信を行っていましたが、千葉市公民館の公式Xを新たに開設し、自習室の開放状況や全区的に取り組んでいる事業等の情報発信を行いました。	発信する情報を充実させ、より多くの方への情報発信に努めます。
3	Xの更新頻度を多くする等、積極的な情報発信に努めました。	今後も継続的にSNSによる情報発信を行っていきます。
4	YouTubeの千葉市科学館公式チャンネルにて展示物やイベント等のPRを行いました。 （火星ローバーコンテストのダイジェスト動画や工作・実験動画も含む）令和5年度は2コンテンツ追加しました。	今後もYouTubeの千葉市科学館公式チャンネルを活用して展示物やイベントのPRを行うと共に、その他の情報発信媒体の利用・活用を検討していきます。

アクションプランの進捗

No.3 e ラーニングの普及事業の実施

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和 5 年度の実施状況	進捗状況
1	e ラーニング普及事業の実施【継続】	・ オンライン動画学習サービス提供、 タブレット貸出	順調

〈アクションプランの分析〉

No.3 e ラーニングの普及事業の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	株式会社 Schoo と連携し、オンライン動画学習サービスの提供とタブレットの貸出を実施し、e ラーニングの機会を提供しました。	株式会社 Schoo と連携し、e ラーニングの普及に取り組めます。

基本施策 1-2 学習環境の整備

施策の方針

- 学びに興味を持った市民が学習活動をはじめるとあって、快適で参加しやすく、新しい時代に合った学習環境の整備を行うとともに、子どもや若者をはじめ、あらゆる世代が利用しやすい環境づくりに努めます。

成果指標

担当課：生涯学習振興課、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、埋蔵文化財調査センター、文化財課

No.	成果指標	当初 (R3)	実績 (R5)	中間目標 (R9)	達成状況
2	生涯学習施設延べ利用者数 ※	1,161,879 人	1,540,476 人	2,032,500 人	○
3	生涯学習センターの施設稼働率	47.7%	57.2%	63.0%	○
4	公民館の施設稼働率(調理室を除く)	39.0%	48.6%	53.0%	○

※生涯学習センター、公民館、科学館、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、埋蔵文化財調査センター、旧生浜町役場、ゆかりの家・いなげ の延べ利用者数

〈成果指標の分析〉

No.	達成状況に対する現状分析	今後の取組み等
2	新型コロナウイルス感染症対策の緩和により、制限していたイベントや市民講座を再開したことにより、利用者数が増加しました。	引き続き、新たな利用者の獲得に繋がるよう、イベントや市民講座を企画・実施します。 なお、郷土博物館は令和6年度下半期から令和7年度上半期にかけて展示リニューアルのため休館、埋蔵文化財調査センターは令和6年7月から令和7年2月まで休所の予定です。
3	新型コロナウイルス感染症対策の緩和により、稼働率は増加傾向にあります。	新たな施設利用者を獲得できるよう広報を強化するとともに、利用者のニーズを踏まえた環境整備に努めます。
4	空き室の自習室としての活用や新型コロナウイルス感染症対策の緩和により、コロナ禍前の水準に戻ってきています。	利用者アンケートなどを参考にし、計画的な修繕等により、市民が利用しやすい施設となるよう努めます。

アクションプランの進捗

No.1 生涯学習施設等の利用環境の充実【新規あり・拡充あり】

担当課：生涯学習振興課、中央図書館管理課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	生涯学習センターのWi-Fi環境の整備【継続】	・Wi-Fi環境の整備	順調
2	公民館のWi-Fi環境の整備【継続】	・Wi-Fi環境の整備	順調
3	科学館のWi-Fi環境の整備【新規】	・Wi-Fi環境の整備	順調
4	図書館のWi-Fi環境の整備【継続】	・Wi-Fi環境の整備	順調
5	生涯学習センターのオンライン講座の充実【継続】	・オンライン講座を実施 41講座 延受講者数 4,256人 ・メディア学習講座を実施 56講座 延受講者数 1,904人	順調
6	公民館のオンライン講座の充実【拡充】	・オンライン講座を実施 121講座 (R5目標：64講座)	順調
7	科学館の安定した運用とサービスの充実【拡充】	・プラネタリウムの運用 利用者数 133,683人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.1 生涯学習施設等の利用環境の充実【新規あり・拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	施設内で Wi-Fi 接続ができる環境を整備し、施設利用者の利便性や学習環境の向上を図りました。	Wi-Fi 設置により施設利用者の利便性や学習環境の向上を図ります。
2	公民館のロビーや諸室において公衆無線 LAN サービスを提供しました。	継続してサービスを提供します。
3	科学館内で実施する講座における学習環境の向上を図りました。	Wi-Fi 環境の活用により施設利用者の利便性や学習環境の向上を図ります。
4	国が示している「Wi-Fi 提供者向け セキュリティ対策の手引き」に基づき、年に 4 回パスワードの変更を行う等、必要なセキュリティ対策を講じながら Wi-Fi 環境の整備を行いました。 Wi-Fi 環境が整備されていることにより、施設利用者の利便性や学習環境の向上を図りました。また、災害時には、電話回線が利用しにくくなる可能性があり、代替の通信手段としても活用できると考えます。	引き続き、国が示している「Wi-Fi 提供者向けセキュリティ対策の手引き」に基づき、安全で快適な利用環境の提供を行っていきます。
5	主催講座のほか、公民館と連携してオンライン講座を実施しました。 デジタルデバйд解消のため、初心者を対象としたパソコン講座やスマホ教室等を実施しました。	効果的なオンライン講座を実施することで受講者の利便性を高め、各種メディア学習事業の実施によりデジタルデバйдの解消に向け、継続的に取り組みます。
6	生涯学習センター等と連携し、他施設の講座をサテライト配信したり、サークルの発表の様子を YouTube で公開するなどオンラインを活用した事業を実施しました。	引き続き、市民に多様な学習の機会を提供するため、オンラインを活用した事業を実施します。
7	プラネタリウムの安定的な運用に向けて R7 の投影機器更新にむけて準備しました。	投影機更新のため令和 6 年 11 月よりプラネタリウム事業を中断し、年内に設置作業を終了、投影試験を実施します。令和 7 年 1 月より、新投影機によりプラネタリウム事業を再開します。

アクションプランの進捗

No.2 子どもの居場所づくりの推進【拡充あり】

担当課：こども企画課、生涯学習振興課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	どこでもこどもカフェ、プレーパークの実施【拡充】	子どもの居場所の拡充について、R5 目標は2 か所増（26 か所→28 か所）のところ、7 か所増加 ・どこでもこどもカフェ 25 か所 ・プレーパーク 8 か所	順調
2	公民館自習室の開放【継続】	・全 47 館で実施 利用者数 17,369 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.2 子どもの居場所づくりの推進【拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	信頼できる大人の見守りの中、自然の中で自由に遊ぶことができる「プレーパーク」や、市民ボランティアが運営する「どこでもこどもカフェ」等の事業により、安心して過ごせる子どもの居場所の確保に引き続き取り組みました。	「どこでもこどもカフェ」や「プレーパーク」など、子どもたちが気軽に立ち寄り、安心・安全に過ごせる地域の身近な居場所を引き続き提供します。
2	子どもの居場所作りの一環として小学生から大学生を対象に、空いている諸室やロビーを自習室として開放しました。	今後も引き続き、子どもの居場所作りの一環として自習室の開放を行って行きます。

アクションプランの進捗

No.3 生涯学習施設の老朽化への対応【新規あり】

担当課：生涯学習振興課、中央図書館管理課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	社会教育施設保全計画の策定【新規】	・計画策定に向けた検討を実施	順調
2	千城台公民館・若葉図書館の再整備【新規】	・千城台公民館・若葉図書館複合施設整備基本計画を策定	順調
3	生涯学習施設の改修・修繕【継続】	【公民館】 改修・修繕 444件（空調設備、昇降機設備、外構、屋上防水等） 【図書館】 改修・修繕 50件（視聴ブース壁面、自動火災報知機、LED照明器具等）	順調

〈アクションプランの分析〉

No.3 生涯学習施設の老朽化への対応【新規あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	社会教育施設を適切に維持できるよう計画策定に向けた各種検討を実施しました。	将来の財政状況を勘案するとともに、施設の維持・更新コストを考慮した複合化の検討を行うなど、社会教育施設を適切に維持できるよう策定作業を進めます。
2	市民ワークショップや利用者アンケートを踏まえ、千城台公民館・若葉図書館複合施設整備基本計画を策定しました。	基本計画で定めた令和11年度の竣工に向け、令和6年度～7年度に基本設計・実施設計、令和8年度～11年度に建設工事を進めていきます。
3	各施設の改修・修繕を実施しました。	引き続き、各施設の改修・修繕を行います。

アクションプランの進捗

No.4 公民館の改修

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	公民館のバリアフリー化【継続】	・施設のバリアフリー化を実施 1館	順調

〈アクションプランの分析〉

No.4 公民館の改修

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	花見川図書館・こてはし台公民館の複合化に伴う大規模改修により、エレベーター及び多目的トイレを設置しました。	引き続き、施設の再整備と合わせてエレベーターや多目的トイレを設置するなど、バリアフリー化を進めます。

2 多様な学習機会の充実

基本施策 2-1 郷土や地域への愛着を深める学習機会の提供

施策の方針

- 郷土や地域に対する理解と愛着を深めるため、本市の歴史・文化資源を活用するとともに、地域に密着した資源も活用した学習機会を提供します。

成果指標

担当課：生涯学習振興課、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、埋蔵文化財調査センター

No.	成果指標	当初 (R3)	実績 (R5)	中間目標 (R9)	達成状況
5	郷土の理解を深める講座受講者数 (公民館、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、 埋蔵文化財調査センター)	2,711 人	2,492 人	4,500 人	×
6	身近な地域の理解を深める講座受講者数 (公民館)	3,047 人	6,432 人	4,100 人	◎

〈成果指標の分析〉

No.	達成状況に対する現状分析	今後の取組み等
5	加曽利貝塚博物館は倍増、郷土博物館及び埋蔵文化財調査センターも講義形式の講座は約 1.5 倍増となっています。 一方で、郷土博物館の出前授業、埋蔵文化財調査センターの展示解説の利用者が大幅な減少となっており、提供している事業と利用者のニーズに齟齬が生じている可能性が高いと考えられます。	利用者のニーズを把握・反映しながら、引き続き、様々なテーマで郷土の理解を深めることにつながる講座を開催していきます。
6	実施講座数の増加により、受講者数も増加しました。	引き続き、市民の学習ニーズや地域の特性などを考慮して講座等の企画を行っていきます。

アクションプランの進捗

No.1 郷土や身近な地域の理解を深める講座・事業の充実

担当課：生涯学習振興課、文化財課、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、埋蔵文化財調査センター

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	加曽利貝塚など縄文時代の理解を深める講座・事業 【継続】	【加曽利貝塚博物館】 ・自然観察ワークショップを開催（2回） ・土版づくり講座を開催（1回） ・加曽利 JOMON ウォークを開催（10月28日） ・縄文時代研究講座を開催（6回） ・特別研究講座を開催（10月21日） ・博物館連携講座を開催（11月23日） ・考古学基礎講座を開催（3月16日） 【埋蔵文化財調査センター】 ・加曽利貝塚発掘調査現地説明会を開催（11月11日） ・千葉市遺跡発表会を開催（2月24日）	順調
2	千葉氏など郷土の歴史の理解を深める講座・事業 【継続】	【郷土博物館】 ・歴史講座を実施（1月20日） ・千葉氏公開市民講座を実施（6月10日、12月9日） ・市史研究講座を実施（9月23日、10月14日） ・古文書講座（初級・中級）を実施（11月～3月） 【埋蔵文化財調査センター】 ・ちば埋文講座を実施（9月4日） ・特別展関連講座を実施（2回） ・埋文センターの展示解説を実施（通年）	順調
3	千葉氏ゆかりの地への案内看板設置【継続】	・説明板新規設置 3か所 (光明院、神明神社、稲荷神社)	順調
4	身近な地域の理解を深める講座・事業の充実【継続】	・講座の実施 217 講座を実施 延受講者数 6,432 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.1 郷土や身近な地域の理解を深める講座・事業の充実

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	加曽利貝塚博物館では、参加希望者のニーズに応えられるよう、初級から上級向けなど各種講座を実施しました。講座によっては募集開始から間もなく定員に達するなど、興味・関心の高さがうかがえました。 また、埋蔵文化財調査センターでは加曽利貝塚の現地説明会の開催等を通じて発掘・研究成果を市民に還元し、縄文時代に興味・関心をもってもらえる機会を提供しました。	縄文文化や加曽利貝塚に関する学びの機会として、継続的に取り組みます。
2	千葉氏をはじめとする郷土の歴史について多方面から学ぶ機会となる講座を実施しました。	郷土博物館は、令和6年度下半期から令和7年度上半期にかけて休館の上、展示リニューアルを行うため、その間中止となる講座はありますが、リニューアル後も様々なテーマで郷土の歴史について理解が深まる講座の実施を継続していきます。 埋蔵文化財調査センターでは、市内の遺跡の発掘調査成果に基づき、郷土の歴史について理解が深まる講座の実施を継続していきます。
3	新たに説明板を設置することで、千葉氏とのゆかりのある場所であることが、近隣住民や観光客に知ってもらいやすくなりました。	今後も市内のゆかりの地に説明板を設置し、千葉氏をより身近に感じられる街を目指します。
4	地域にゆかりのある人物や歴史、郷土料理などを学ぶ講座を217講座実施しました。	引き続き、市民の学習ニーズや地域の特性などを考慮して講座等の企画を行います。

アクションプランの進捗

No.2 特別史跡加曽利貝塚の魅力向上

担当課：文化財課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	新博物館の整備【継続】	・整備運営事業者の選定にかかる入札を中止	遅れ
2	史跡の整備【継続】	・第2期史跡整備基本計画の調査検討を実施 ・貝層保護のための樹木伐採を実施(北貝塚185本伐採) ・復元住居の製作設置を先送り	遅れ

〈アクションプランの分析〉

No.2 特別史跡加曽利貝塚の魅力向上

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	整備運営事業者の選定にかかる入札については、応札者がいなかったため中止しました。	建設工事費が高騰している事情を踏まえて条件面を見直し、できる限り早期に再公告する予定です。
2	復元住居の製作設置について、特殊な木材加工を受注することが可能な事業者を確保できなかったため、入札を見送りました。	第2期史跡整備基本計画は調査検討を継続し、令和7年度に計画を策定する予定です。 樹木伐採は令和7年度まで計画的に実施する予定です。 復元住居は令和6年度は発注仕様等の見直しを行う予定です。

アクションプランの進捗

No.3 縄文文化調査研究の推進

担当課：文化財課、加曽利貝塚博物館、埋蔵文化財調査センター

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	特別史跡加曽利貝塚の究明に向けた発掘調査【継続】	・第18次発掘調査を実施（9月～11月） ・第16次発掘調査(R2～R4 調査)の整理作業を実施（通年） ・第14次発掘調査(H29～R1 調査)の発掘調査報告書を刊行	順調
2	縄文時代の文化や社会に関する研究【継続】	【加曽利貝塚博物館】 ・博物館収蔵資料の3Dデータ制作を実施（3月） ・貝塚博物館紀要第50号を刊行（3月） 【埋蔵文化財調査センター】 ・通年で市内の重要貝塚・縄文集落と出土遺物の分析・研究を実施 【文化財課】 ・早稲田大学による地中レーダー探査を実施（8月～9月）	順調

〈アクションプランの分析〉

No.3 縄文文化調査研究の推進

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	令和5年度から新たに第18次発掘調査として北貝塚の発掘調査に着手しました。 また、平成29年度から令和元年度にかけて実施した第14次発掘調査の成果について調査報告書を刊行しました。	令和5年度から着手した第18次発掘調査を令和7年度までの3か年計画で実施する予定です。 令和2年度から4年度まで実施した第16次発掘調査の成果について令和8年度に調査報告書を刊行する予定です。
2	加曽利貝塚博物館では、収蔵資料の3D化などを各機関と協力して実施しました。紀要については、加曽利貝塚だけでなく、千葉市内の縄文時代に関する論文などを掲載しました。 埋蔵文化財調査センターでは、市内の主要な縄文貝塚・集落及びその出土資料の分析・研究（外部保管されている加曽利貝塚出土資料、月ノ木貝塚、蕨立遺跡等）、縄文土器製作技術研究（成形手法の解明、縄文土器の復元製作等）を実施しました。 文化財課では、加曽利貝塚の構造分析に向け、早稲田大学に委託し、地中レーダー探査を実施しました。	加曽利貝塚博物館では、今後も継続してデータの活用や紀要の刊行をおこなっていきます。 埋蔵文化財調査センターでは、市内の主要な縄文貝塚・集落及びその出土資料の分析・研究（外部保管されている加曽利貝塚出土資料、鳥喰東遺跡の整理）、縄文土器製作技術研究（千葉市最古の縄文土器等の復元製作）を実施予定です。 文化財課では、平成29年度から令和5年度まで実施した地中レーダー探査の成果を取りまとめ、令和6年度に成果報告書を刊行する予定です。

アクションプランの進捗

No.4 千葉氏をはじめとする郷土の歴史に関する企画展の実施

担当課：郷土博物館

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	千葉氏をはじめとする郷土の歴史に関する企画展の実施【継続】	・特別展「関東の30年戦争『享徳の乱』と千葉氏」を開催（1月16日～3月3日） ・企画展「商人たちの選択」を開催（7月11日～9月3日） ・千葉氏パネル展「京（みやこ）と千葉氏」を開催（5月25日～11月19日）	順調

〈アクションプランの分析〉

No.4 千葉氏をはじめとする郷土の歴史に関する企画展の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	千葉氏をはじめとする郷土の歴史について、理解を深めることができる展示内容で、来館者からも好評でした。	令和6年度から展示リニューアル改修に入るため、その間の企画展は実施できませんが、リニューアルオープン後の企画展実施に向けて準備していきます。

アクションプランの進捗

No.5 千葉氏に関する調査研究の推進【拡充あり】

担当課：郷土博物館、埋蔵文化財調査センター

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	千葉氏に関する史料の調査【拡充】	・千葉氏に関する史料調査を実施	順調
2	千葉氏関連遺跡等の発掘調査の実施【拡充】	・吾妻公園（中央区中央3）での試掘調査を実施（3月）	順調

〈アクションプランの分析〉

No.5 千葉氏に関する調査研究の推進【拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	千葉氏に関する県内、県外の史料調査を実施することで、関係史料の収集が進んでいます。史料集刊行の準備も順次行っています。	史料調査を継続する一方で、史料集刊行のための編集作業を本格的に進めていきます。
2	時期不明の土坑1基と貝層を検出しましたが、千葉氏に関わる遺構は確認できませんでした。	令和6年度は院内公園・道場公園（いずれも中央区院内2丁目）のいずれかで試掘調査を実施する予定です。

アクションプランの進捗

No.6 郷土博物館の充実

担当課：郷土博物館

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	郷土博物館の展示の充実【継続】	・展示リニューアル設計を実施	順調

〈アクションプランの分析〉

No.6 郷土博物館の充実

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	展示していない時代があるなど多くの課題がある現在の展示について、千葉市の今日までのあゆみがわかる通史展示にリニューアルするための設計を実施しました。	令和6年度下半期から令和7年度の上半期にかけて、休館の上、館内の展示リニューアルを行います。

アクションプランの進捗

No.7 千葉市史史料編近現代の刊行

担当課：郷土博物館

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	千葉市史史料編近現代の刊行【継続】	・『千葉市史史料編 11 近代 2』を刊行（3月）	順調

〈アクションプランの分析〉

No.7 千葉市史史料編近現代の刊行

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	千葉市史の近現代史料編の第2巻目となる大正期から戦前・戦中期までの史料を掲載した史料編を刊行しました。	近現代史料編の第3巻目となる戦後以降の史料編を刊行するため、編集作業を進めて行きます。

アクションプランの進捗

No.8 文化財の保存・活用の推進

担当課：文化財課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	文化財保存活用地域計画の作成【継続】	・計画案作成を前年度から引き続き実施 ・市民意見聴取のためのワークショップを開催（12月・1月） ・第2回文化財保存活用協議会を開催（3月）	順調

〈アクションプランの分析〉

No.8 文化財の保存・活用の推進

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	前年度に引き続き計画案を作成するとともに、市民意見聴取のためのワークショップ、第2回文化財保存活用協議会を開催しました。	引き続き計画案を作成し、令和6年度中に計画原案を完成させます。

アクションプランの進捗

No.9 地域情報サービスの充実【新規あり】

担当課：中央図書館情報資料課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	「千葉市民の知」の計画的な集積と発信【新規】	・市民インタビューによるオーラルヒストリーを収集・保存・公開作成等（10件）、アクセス数（約3000件） ・千葉市図書館地域情報デジタルアーカイブ化計画を策定	順調

〈アクションプランの分析〉

No.9 地域情報サービスの充実【新規あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	市民インタビューによるオーラルヒストリー（小冊子）を10件作成し、市図書館で所蔵するとともに、WEB（地域情報デジタルアーカイブ）上でも公開することにより、市民の学ぶ機会を提供することができました。	令和5年度に策定したデジタルアーカイブ化計画に基づき、令和6年度以降も、毎年度10件程度のオーラルヒストリーを新たに作成し、WEB上に公開することにより市民の学びの場を提供していきます。

基本施策 2-2 市民ニーズに対応した学習機会の提供

施策の方針

- 多様化する社会において、多岐にわたる市民の学習ニーズに対応するとともに、すべての市民が必要な時に必要な学びができる、幅広い分野にわたる学習機会を提供します。

成果指標

担当課：生涯学習振興課

No.	成果指標	当初 (R3)	実績 (R5)	中間目標 (R9)	達成状況
7	公民館延べ利用者数	634,624 人	817,882 人	1,098,000 人	○
8	学習相談者数 (生涯学習センター・公民館)	3,091 人	2,972 人	3,500 人	△

〈成果指標の分析〉

No.	達成状況に対する現状分析	今後の取組み等
7	新型コロナウイルス感染症対策の緩和により、利用制限が撤廃され、令和3年度と比較すると多くの利用者が戻ってきました。	利用者数の増に繋がるよう、公民館の周知、主催講座の充実等に取り組めます。
8	新型コロナウイルス感染症による利用制限が撤廃されたものの、利用者が高齢化したことなども影響し、相談者数が減少しました。	引き続き、HP や広報紙などによる広報に努め、市民の学習ニーズに応えるべく相談に対応していきます。

アクションプランの進捗

No.1 文化・芸術学習事業の実施

担当課：文化振興課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	文化・芸術学習事業の実施【継続】	・「文化芸術振興計画」に基づき、各施策・事業を計画的に実施	順調

〈アクションプランの分析〉

No.1 文化・芸術学習事業の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	12月にチバリアフリーアートプロジェクトVol.7を開催し、市民が主体となるような事業や子ども・若者が文化芸術に親しむことができる事業を実施しました。	「第3次千葉市文化芸術振興計画」に基づき、チバリアフリーアートプロジェクト等の文化芸術事業やメディア芸術振興事業等の子ども若者向け文化芸術事業を継続して実施していきます。

アクションプランの進捗

No.2 スポーツ・レクリエーション事業の実施

担当課：スポーツ振興課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	スポーツ・レクリエーション事業の実施【継続】	・「スポーツ推進計画」に基づき、各施策・事業を計画的に実施	順調

〈アクションプランの分析〉

No.2 スポーツ・レクリエーション事業の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	スポーツ推進計画に基づき、ジャパンビーチゲームズフェスティバル、パラスポーツフェスタちば、千葉市家庭バレーボール大会等を実施しました。新型コロナウイルス感染症対策の緩和により、スポーツ・レクリエーション活動への参加者数が増加しています。	スポーツ活動を「する」「観る」「支える・ふれあう」人を増やすべく、各施策・事業を継続・拡充していきます。

アクションプランの進捗

No.3 科学関連学習事業の実施

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	未来の科学者育成プログラムの充実【継続】	・講座参加コースを実施 23 講座 延受講者数 547 人 ・課題研究コースを実施 5 講座 延受講者数 78 人 ・特別講座を実施 2 講座 延受講者数 30 人 ・ジュニアプログラムを実施 7 講座 延受講者数 156 人	順調
2	シニア科学講座の実施【継続】	・大人の工作教室を実施 4 講座実施 延受講者数 11 人	順調
3	科学関連学習事業の実施【継続】	【生涯学習センター】 ・講座を実施 8 講座 延受講者数 426 人 【公民館】 ・講座の実施 147 講座実施 延受講者 1,913 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.3 科学関連学習事業の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	4年ぶりに予定していた全講座を実施しました。講座をオンライン形式、参集形式のものに分けることで効率的に運営することができました。また、応募方法を改善することにより、受講生の希望が通りやすくするとともに、各講座の定員割れの課題を解決することができました。	受講希望者の増加（回復）により、受け入れる講座定員数の事情から1人当たりの受講可能講座数が減少してしまう傾向が見られました。広く受け入れる形式は継続しながら、受講希望が分散するように新たな科学分野での講座開設や、既に関係がある外部機関への講座協力を図っていきます。
2	主にNPO法人ちば算数・数学を楽しむ会から講師を迎え、数学分野での講座を開催しました。	NPO法人ちば算数・数学を楽しむ会が講師を務める未来の科学者育成プログラムジュニア講座において、児童の引率にきた保護者等へシニア科学講座の周知をするなどにより、受講者数の増加に取り組みます。
3	生涯学習センターでは、子どもチャレンジ教室などの科学関連講座を実施し、科学に関する学習機会を提供しました。公民館では、子ども向けの事業を中心に開催し、一部の講座では科学館や生涯学習センターとも連携することで様々なテーマの講座を実施することができました。	小・中学生を対象に科学関連の講座を実施し、科学技術を体験できる機会の提供に継続的に取り組みます。

アクションプランの進捗

No.4 青少年教育・少年教育事業の実施

担当課：生涯学習振興課、南部青少年センター

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	主催講座の実施【継続】	【生涯学習センター】 ・ 青少年関連講座を実施 27 講座 延受講者数 2,897 人 【公民館】 ・ 講座の実施 438 講座 延受講者数 6,476 人 【南部青少年センター】 ・ 高校生と一緒に作る科学工作講座などの実施 14 講座 延受講者数 255 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.4 青少年教育・少年教育事業の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	生涯学習センターでは、子どもチャレンジ教室、青少年の日フェスタ関連事業、子ども読書まつり関連事業など青少年・少年教育に関する学習機会を提供しました。また、高校演劇大会の支援を行いました。 公民館では、異年齢の子ども同士が学びあったり、家庭では体験できない体験・工作等を行うことのできる講座を 438 講座実施しました。 南部青少年センターでは、学年の異なる児童生徒に体験の場を提供し、異年齢の交流を通して青少年の健全育成を図るため 14 講座実施しました。	生涯学習センターでは、主催事業の実施により青少年・少年教育の学習機会として、高等学校演劇発表会の支援により学習成果の発表の場として、継続的に取り組みます。 公民館では、今後も市民の学習ニーズを把握しつつ、多様な体験学習機会の提供を継続的に実施します。 南部青少年センターでは、小中学生を対象に工作・料理など体験活動を重視した講座を開催し、異年齢の交流を通して青少年の健全育成を図ります。

アクションプランの進捗

No.5 電子書籍サービスの充実【拡充あり】

担当課：中央図書館情報資料課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	電子書籍サービスの充実【拡充】	・提供資料数 12,872 点 (+1,663 点) ・閲覧回数 68,755 回 (+17,473 回) ・貸出回数 20,415 回 (+3,559 回) ※ () は前年比	順調

〈アクションプランの分析〉

No.5 電子書籍サービスの充実【拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	利用者ニーズの高い書籍や電子書籍特有の機能を有する書籍の充実を図りました。 特に、令和6年度から電子書籍を活用した学校との連携事業を全小中学校で本格展開していく基盤づくりを進めるため、年度末に学校にID・パスワードを配布する等しました。	引き続き、市民の学びの場となるよう、電子書籍の充実を図ります。 令和6年度は、学校における電子書籍の活用を図る観点から、児童生徒が一斉に利用できる「読み放題のコンテンツ」を充実させるとともに、学校の利用状況等を把握し、必要な改善を進めていきます。

アクションプランの進捗

No.6 レファレンスサービスの充実

担当課：中央図書館情報資料課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	レファレンスサービスの充実【継続】	・オンラインデータベースを導入(10月)	順調

〈アクションプランの分析〉

No.6 レファレンスサービスの充実

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	レファレンス機能の充実のため、令和5年10月に有料オンラインデータベースを導入しました。(データベース種類：「法律・行政」、「経済・経営」、「学術」、「新聞記事」) オンラインデータベースの導入により、市民が調べたい情報へアクセスすることが容易となるなど、学びの場としての選択肢を増やすことができました。	オンラインデータベースの利便性や活用方法について周知を行い、利用の促進を図ります。

アクションプランの進捗

No.7 多様な主体による学習活動の推進

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	生涯学習センター、公民館において多様な主体と連携した事業の実施【継続】	【生涯学習センター】 ・民間事業者や大学等との連携講座の実施 15 講座 延受講者数 1,340 人 【公民館】 ・講座の実施 101 講座 延受講者 3,981 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.7 多様な主体による学習活動の推進

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	生涯学習センターでは、民間事業者や大学等と連携し、専門性を生かした講座等を実施しました。 公民館では、地域団体や民間事業者などと協力し、多様な学習機会の提供や地域住民の交流の機会を提供しました。	生涯学習センターでは、多様な団体等と連携講座を実施し、専門性の高い多様な習機会の提供として、継続的に取り組みます。 公民館では、引き続き、多様な主体との連携をすることにより、市民の学習機会の充実を図ります。

アクションプランの進捗

No.8 公民館への社会教育主事有資格者配置【拡充あり】

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	公民館への社会教育主事有資格者配置【拡充】	・社会教育主事有資格者の配置 令和5年度末で 32 人配置（公民館管理室含む） （R5 目標：32 人）	順調

〈アクションプランの分析〉

No.8 公民館への社会教育主事有資格者配置【拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	公民館職員の専門性の向上を図り、市民の社会教育活動を推進するため、社会教育主事資格取得を進め、令和5年度中に新たに4人が有資格者となりました。	今後も社会教育主事講習等に公民館職員を積極的に推薦し、資格取得者の増加に努めます。

アクションプランの進捗

No.9 学習相談の充実

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	学習相談の充実【継続】	・学習相談の実施 相談件数 2,972件	順調

〈アクションプランの分析〉

No.9 学習相談の充実

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	生涯学習センターでは、専門の相談員による相談業務や関係機関での出前相談を実施しました。 公民館では、サークルや講座の情報提供、参加についての相談などに対応しました。	相談業務を実施し、きめ細かい助言により相談者の学習活動を支援する機会として、継続的に取り組みます。また、引き続き、市民の学習ニーズに応えるべく相談に対応していきます。

基本施策 2-3 現代的課題に対応する学習機会の提供

施策の方針

- 急速に変化する社会において、新たな時代の課題に対応し、生命やくらしを守る学習や、持続可能なコミュニティづくりにつながる学習の機会を提供します。

成果指標

担当課：生涯学習振興課

No.	成果指標	当初 (R3)	実績 (R5)	中間目標 (R9)	達成状況
9	現代的課題に対応する主催講座 受講者数 (生涯学習センター・公民館)	3,990 人	6,412 人	4,300 人	◎

〈成果指標の分析〉

No.	達成状況に対する現状分析	今後の取組み等
9	新型コロナ 5 類移行による行動制限の緩和より、受講者数は増加傾向にあります。	新たな受講者を獲得できるように市民の学習ニーズや地域の特性などを考慮して講座を企画・実施します。

アクションプランの進捗

No.1 生命や暮らしを守る学習の充実【拡充あり】

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	生命や暮らしを守る講座の実施【継続】	【生涯学習センター】 ・防災教育、消費者教育講座の実施 4講座 延受講者数 649人 【公民館】 ・講座の実施 171講座 延受講者 3,105人	順調
2	デジタルデバイドの解消【拡充】	【生涯学習センター】 ・メディア学習講座の実施 56講座 延受講者数 1,904人 【公民館】 ・講座の実施 42講座実施 延受講者 674人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.1 生命や暮らしを守る学習の充実【拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取り組み等
1	現代的課題学習として、防災・防犯教育、健康講座、環境講座、消費者教育をテーマに講座を実施し、生命や暮らしを守る方法についての学習機会を提供しました。	防災・防犯教育等の講座を実施し、生命や暮らしを守る方法についての学習機会の提供として、継続的に取り組みます。
2	生涯学習センターでは、初心者向けパソコン講座やスマホ教室等を実施し、デジタルデバイドの解消に努めました。 公民館では、講座開催にあたり、生涯学習センターやスマートシティ推進課などの協力を得て実施したものもあり、他組織の連携により充実した講座の開催が可能となりました。	生涯学習センターでは、初心者向けパソコン講座やスマホ教室等を実施し、デジタルデバイドの解消に向けて、継続的に取り組みます。 公民館では、引き続き、他組織等との連携を図りつつ、市民の学習ニーズを踏まえた講座の実施に努めます。

アクションプランの進捗

No.2 子ども達の放課後対策【拡充あり】

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	アフタースクール事業の推進【拡充】	・アフタースクールの運営 (R5:10校移行により34校) (R5目標:34校)	順調
2	放課後子ども教室の実施【継続】	・放課後子ども教室の実施 市立小学校68校で実施 延実施日数960日 延参加児童数39,573人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.2 子ども達の放課後対策【拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	アフタースクールについては、24校から34校に拡充し、「安全・安心な居場所」と「多様な体験・活動の機会」等の提供に努めています。令和5年度に実施したアンケートでは、保護者、児童ともに概ね8割の利用者から「満足」との回答が得られました。	アフタースクールについては、令和6年度に44校に拡充するとともに、令和7年度の10校拡充に向けた開設準備を実施し、原則全校展開に向けた取組を進めていきます。
2	放課後子ども教室については、コロナ禍に比べ実施日数は回復しつつあるものの、実行委員会の負担が大きく、全市的にみると、担い手の確保が困難な状況に変わりはありません。 活動支援については18校、民間委託についてはモデル校1校で実施し、各学校の状況に応じた支援を行いました。	放課後子ども教室については、担い手不足の顕在化が課題となっていますが、実行委員会に対する支援の強化や民間委託により安定的かつ継続的な体験・活動の機会の確保を図ります。

アクションプランの進捗

No.3 家庭教育支援事業の実施

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	家庭教育支援チーム【継続】	・学習機会の提供 講座数8回、延参加者数567人 ・相談活動 44回、延参加者数75組	順調
2	子育てママのおしゃべりタイムの実施【継続】	・子育ておしゃべりタイムの実施 143回開催 延参加者数1,586人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.3 家庭教育支援事業の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	子育てに関する情報や学習機会の提供などを通して、家庭と地域、関係機関のつながりづくりを支援しました。	引き続き、ホームページなどでの情報発信や子育てに関連した講座等を開催します。
2	子育てサポーターや家庭教育アドバイザーが、子育てに関する悩みや不安をもつ親の相談に応じ、子育て仲間づくりを支援しました。	引き続き、「子育ておしゃべりタイム」での相談活動を通じて、子育て中の悩みや不安を解消いただけるように努めます。

アクションプランの進捗

No.4 子ども読書活動の推進

担当課：中央図書館管理課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	子ども読書活動の推進 【継続】	・千葉市子ども読書活動推進計画(第4次)」に基づき、各種事業を実施 ・関係部局に対し、計画事業の進行管理として進捗状況調査を実施	順調

〈アクションプランの分析〉

No.4 子ども読書活動の推進

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	「どくしょてちょう」を未就学児（約11,000人）、小学生全学年（約60,000人）に、「ファミリーブックタイム事例集」を小学生の新入学生（約9,700人）に、図書館利用申込書と一緒に配布しました。 親子おはなし会や地域ボランティアと協働したイベント等を実施し、子どもが読書に親しむ機会を創出しました。	引き続き、千葉市子ども読書活動推進計画（第4次）」に基づく各種事業の実施や、関係部局への進捗状況調査による進行管理を行います。また、次期千葉市子ども読書活動推進計画の策定に向け、関係部局と連携し、子ども読書習慣に関する現況及び課題を調査します。

アクションプランの進捗

No.5 高齢化社会に対応した学習支援

担当課：生涯学習振興課、高齢福祉課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	生きがいづくり・仲間づくり、健康・福祉に関する講座の開催【継続】	【生涯学習センター】 ・医療・健康、福祉関連講座の実施 6講座 延受講者数 297人 【公民館】 ・生きがいづくり、仲間づくり、健康・福祉関連講座の実施 139講座 延受講者 3,821人 【いきいきプラザ・センター】 ・高齢者福祉講座の実施 1,649講座実施 延受講者数 39,789人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.5 高齢化社会に対応した学習支援

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	生涯学習センター及び公民館では、現代的課題学習として、医療・健康、福祉に関する学習機会を提供しました。 （健康セミナー、終活講座やスマートフォンの活用方法を学ぶ講座などの高齢化社会に対応した講座など） いきいきプラザ・センターでは、生きがいや健康作り、仲間作りを目的として、高齢者の教養の向上及びレクリエーションなどの幅広い内容の講座を開催しました。	生涯学習センター及び公民館では、現代的課題学習として、医療・健康、福祉等の学習機会の提供として、継続的に取り組みます。 いきいきプラザ・センターでは、今後も社会の変化を注視しながら、利用者ニーズを把握し、継続的な学習機会の提供に努め、引き続き高齢者の健康増進や生きがいある生活が送れるよう支援します。

アクションプランの進捗

No.6 公民館の機能強化【新規あり・拡充あり】

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	地域課題解決に向けた講座及び相談支援体制の充実【新規・拡充】	・各種講座の実施 ・相談支援体制の充実を目的としたモデル事業を実施する2館を選定 ≪再掲≫・社会教育主事有資格者の配置 令和5年度末で32人配置（公民館管理室含む） （R5目標：32人）	順調

〈アクションプランの分析〉

No.6 公民館の機能強化【新規あり・拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	地域の実情や社会的な要請を踏まえて各種講座を開催しました。また、相談支援体制の充実を図るためモデル事業を実施する2館を選定しました。加えて、公民館職員の専門性向上を図り、市民の社会教育活動を推進するため、社会教育主事資格取得を進め、令和5年度中に新たに4人が有資格者となりました。	引き続き、地域課題等に取り組む講座を実施していくとともに、相談支援体制の充実を図るためのモデル事業に取り組みます。また、今後も社会教育主事講習等に公民館職員を積極的に推薦し、資格取得者の増加に努めます。

アクションプランの進捗

No.7 キャリア教育・リカレント教育の推進

担当課：教育改革推進課、生涯学習振興課、政策調整課、雇用推進課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	キャリア教育の推進 【継続】	【教育改革推進課】 ・千葉県キャリア教育新基本方針「未来を拓くキャリア教育」を策定 ・中学校1,2年生向けキャリア教育ノート「わたしの夢」の改訂および配付 ・職業体験学習を実施（小学校：51.4%, 中学校：94%） 【生涯学習センター】 ・キャリア教育関連講座の実施 8講座 延受講者数 164人	順調
2	リカレント教育の推進 【継続】	【政策調整課】 ・リカレント教育に係るチラシの配架 ・千葉県大学連絡会議構成大学が開催する講座等の情報を市ホームページ上で周知・集約 ・生涯学習センターホームページに、大学連携のリンクを掲載 【雇用推進課】 ・企業の研修費支援や資格取得支援に係るニーズ調査及び制度設計を実施 【生涯学習振興課】 ・大人の工作教室の実施 4講座 ・講演会、トークイベント、講座の実施 10講演、延受講者数 309人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.7 キャリア教育・リカレント教育の推進

No.	主な成果と考察	今後の取り組み等
1	千葉県キャリア教育新基本方針「未来を拓くキャリア教育」を策定し、本市のキャリア教育に係る事業と内容のつながりやねらいを整理し、学校現場が具体的にキャリア教育を進められるよう方針を示すことができました。 キャリア教育ノート「わたしの夢」を活用したことで、生徒が「生き方」について、主体的に考えることができました。 出前授業では、体験活動を盛り込んだ授業を推進しました。その結果、理論よりも体験や経験を重視する小学校での出前授業の実施校が増加しました。 生涯学習センターでは、現代的課題学習として、キャリアプランニング講座、キャリアアップ・就職支援講座、子どものハローワーク講座を実施しました。	千葉県キャリア教育新基本方針「未来を拓くキャリア教育」について教職員の理解が深まるよう、様々な年齢層やキャリア段階での研修を実施し、各校の実践へとつなげていきます。 キャリア教育ノート「わたしの夢」の改訂では、新基本方針を受け、学級活動の学習で効果的に活用できるように検討します。 職業体験学習を活用した総合的な学習の時間のモデルプラン作成に向けた実証研究を小、中学校にて実施します。また、より学校のニーズに合った授業実施に向け、出前授業の申込み期間を通年へと変更し、実施します。 生涯学習センターでは、現代的課題学習として、キャリアアップに関する学習機会の提供として、継続的に取り組みます。
2	リカレント教育に係るチラシの配架や、大学の講座等の情報を集約・周知することで、市民が継続的な生涯学習を実施するきっかけを作りました。 また、人材育成や人材確保に係る市内中小企業の課題、支援を要する資格や費用規模などを把握し、それを踏まえて、対象資格や補助上限額の拡充等の支援制度を設計しました。 加えて、外部講師を招聘し、科学、技術分野で専門的な内容の講座や講演会を実施しました。	今後も大学等と連携し、リカレント教育に係る情報発信を継続して実施します。 また、令和6年度から、「中小企業人材育成・能力開発推進支援補助制度」、「資格取得支援補助制度」として支援を実施するとともに、利用状況や課題を踏まえ、制度の改善を図ります。 加えて、科学、技術分野で専門的な内容の講座や講演会を今後も継続的に取り組みます。

アクションプランの進捗

No.8 SDGs の達成に寄与する学習機会の提供

担当課：文化財課、生涯学習振興課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	縄文社会の持続可能性に関する講座・事業の展開【継続】	・加曾利貝塚博物館「縄文時代研究講座」(6回開催)の中で開催(3月)	順調
2	科学館におけるSDGsに関する事業の展開【継続】	・科学館においてSDGsに関する講座や事業を実施	順調

〈アクションプランの分析〉

No.8 SDGs の達成に寄与する学習機会の提供

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	縄文時代の動物利用について紹介する中でSDGsとの関わりについて触れることで、現代社会と関連付けながら当時の社会を学ぶことができる機会を提供することができました。	講座のテーマ設定に当たっては、引き続きSDGs達成に寄与するものとなるよう取り組んでいきます。
2	貸出用タブレットを活用し、展示物のAR体験をしながら、SDGsを学ぶ機会を提供することができました。	講座の設定やARコンテンツ充実のため、各展示物をSDGsの視点からどのように捉え、アプローチができるかを検討していきます。また、講座や科学館利用の仕方を学校団体等へ呼びかけていきます。

3 学習を生かした活力あるコミュニティづくり

基本施策 3-1 地域の担い手となる人材の発掘・育成

施策の方針

- 地域における学習活動の活発化を図るため、リーダーやファシリテーター、ボランティアなどの人材を発掘・育成します。

成果指標

担当課：生涯学習振興課

No.	成果指標	当初 (R3)	実績 (R5)	中間目標 (R9)	達成状況
10	指導者養成研修受講者数 (生涯学習センター、公民館)	355 人	466 人	630 人	○
11	ちば生涯学習ボランティアセンター登録者数 (生涯学習センター)	1,872 人	2,084 人	2,100 人	○
12	ちば生涯学習ボランティアセンターにおける コーディネート件数 (生涯学習センター)	341 件	367 件	380 件	○

〈成果指標の分析〉

No.	達成状況に対する現状分析	今後の取組み等
10	新型コロナ感染症対策の緩和により、受講者数は増加傾向にあります。	新たな受講者を獲得できる講座を企画・実施します。
11	新型コロナ感染症対策の緩和により、登録者数は増加傾向にあります。	新たな登録者を獲得できるよう広報を強化します。
12	新型コロナ感染症対策の緩和により、コーディネート件数は増加傾向にあります。	新たな利用者を獲得できるよう広報を強化します。

アクションプランの進捗

No.1 公民館への社会教育主事有資格者配置【拡充あり】《再掲》

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和 5 年度の実施状況	進捗状況
1	公民館への社会教育主事有資格者配置【拡充】	・《再掲》・社会教育主事有資格者の配置 令和 5 年度末で 32 人配置（公民館管理室含む） (R5 目標：32 人)	順調

〈アクションプランの分析〉

No.1 公民館への社会教育主事有資格者配置【拡充あり】《再掲》

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	公民館職員の専門性の向上を図り、市民の社会教育活動を推進するため、社会教育主事資格取得を進め、令和 5 年度中に新たに 4 人が有資格者となりました。	今後も社会教育主事講習等に公民館職員を積極的に推薦し、資格取得者の増加に努めます。

アクションプランの進捗

No.2 ボランティアの発掘・育成

担当課：生涯学習振興課、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、中央図書館情報資料課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	ちば生涯学習ボランティアセンター運営【継続】	・生涯学習ボランティアセンターの運営 登録者数 2,084 人 コーディネート件数 367 件	順調
2	科学館ボランティア【継続】	・科学館ボランティアの実施 登録人数 250 人	順調
3	加曽利貝塚博物館ボランティア【継続】	・専門研修を実施 (7月5日～9日)	順調
4	郷土博物館ボランティア【継続】	・専門研修及び実習を実施 (専門研修9月20日、実習11月30日)	順調
5	図書館ボランティア【継続】	・スキルアップ講座を実施 2回 37人 ・スキルアップ研修を実施 3回 27人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.2 ボランティアの発掘・育成

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	生涯学習ボランティアの登録受付、登録者名簿の作成・更新を行い、学校や公民館等へ配布しました。依頼内容に応じたボランティアを紹介するコーディネートを行いました。	生涯学習ボランティアの登録受付、登録者名簿の作成・更新・紹介など、引き続きボランティア活動を支援します。
2	年間を通じて定期的にボランティア募集（説明会）を実施するとともに、夏季休業中には小中学生のボランティア参加も実施しました。	継続した登録者の割合が増えていることから、新規登録者が増加するための募集方法を検討します。また、学生等の若年層のボランティア参加の増加を図ります。
3	ボランティアガイドを募集し、育成のために学芸員による専門研修を実施しました。受講者全員が加曽利貝塚ガイドの会に加入し、会員の登録者数は59人となりました。	引き続き加曽利貝塚ガイドの会の会員を募集し、育成に努めます。
4	コロナ禍で実施できていなかった専門研修と実習を再開し、新たなボランティアを登録することができ、登録者数は56人となりました。	ボランティアの高齢化等により辞める人もいることから、継続的な人材の確保に努めます。
5	地域おはなしボランティアの活動を支える技術・知識の向上等を図るため、スキルアップ講座及びスキルアップ研修を実施しました。	おはなしボランティアのスキルアップのため、今後も継続して講座や研修を実施します。直近で登録した第8期（2019年度登録）は、その後のコロナ禍により、登録後の活動機会が少なかったため、継続的な研修の実施により、スキルの維持向上に努めます。また、次期（第9期）の養成についても実施時期を検討します。

アクションプランの進捗

No.3 ボランティアセンター等におけるコーディネートの実施

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	ちば生涯学習ボランティアセンターにおけるコーディネート【継続】	・ コーディネートの実施 コーディネート件数 367 件	順調

〈アクションプランの分析〉

No.3 ボランティアセンター等におけるコーディネートの実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	ちば生涯学習ボランティアセンターにおけるコーディネートを実施し、ボランティアとその支援を必要とする団体等のマッチングを行いました。	ちば生涯学習ボランティアセンターにおけるコーディネートを実施し、ボランティアがさらに活用されるよう、継続的に取り組みます。

アクションプランの進捗

No.4 団体・グループ活動のリーダーやファシリテーターの養成・育成

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	指導者養成研修【継続】	【生涯学習センター】 ・ 講座の実施 9 講座 延受講者数 277 人 【公民館】 ・ 講座の実施 11 講座 延受講者数 189 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.4 団体・グループ活動のリーダーやファシリテーターの養成・育成

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	生涯学習センターでは、地域活動で求められるコミュニケーション能力やコーディネート力のある人材育成のための講座を実施しました。 公民館では、地域活動、団体・グループ活動等の担い手となる人材の養成・育成のため各種講座を実施しました。	生涯学習センターでは、人材育成に関する講座を実施し、地域活動で求められる人材育成の機会として、継続的に取り組みます。 公民館では、引き続き、地域の社会教育活動が活発となるよう研修を開催していきます。

アクションプランの進捗

No.5 社会教育関係団体の育成

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	社会教育関係団体の育成【継続】	【生涯学習センター】 ・学校・地域支援者研修の実施 4 講座 延受講者数 103 人 【公民館】 ・講座の実施 22 講座 延受講者数 657 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.5 社会教育関係団体の育成

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	生涯学習センターでは、PTA、放課後こども教室コーディネーター、地域コーディネーターなどを対象とした研修を実施しました。 公民館では、利用者団体や地域団体等を対象に活動の充実を図ることを目的とした各種講座を実施しました。	生涯学習センターでは、PTA 等の社会教育団体向けの研修を実施し、社会教育関係団体の育成を図る機会として、継続的に取り組みます。 公民館では、引き続き、社会教育関係団体への支援の一環として、各種講座等を実施します。

基本施策 3-2 市民の参加・協働による学習成果の活用

施策の方針

- 学んだ成果が地域に還元され、様々な課題の解決が図られることで、持続可能なコミュニティの形成につながるよう、活用方法や機会を提供します。

成果指標

担当課：生涯学習振興課、加曽利貝塚博物館、郷土博物館

No.	成果指標	当初 (R3)	実績 (R5)	中間目標 (R9)	達成状況
13	市民自主企画講座受講者数 (生涯学習センター)	187 人	608 人	550 人	◎
14	博物館ボランティアガイドの解説を受けた 見学者数 (加曽利貝塚博物館、郷土博物館)	7,517 人	17,620 人	33,200 人	○

〈成果指標の分析〉

No.	達成状況に対する現状分析	今後の取組み等
13	新型コロナ感染症対策の緩和により、登録者数は増加傾向にあります。	多くの受講者を獲得できる講座の企画・実施を支援します。
14	加曽利貝塚博物館では延べ利用者の約 26%、郷土博物館では延べ利用者の約 6%がガイドによる解説を利用しました。 R3 より順調に増加しているものの、コロナ禍前の水準(28,712 人)まではまだ達していませんが、これは小学校団体の見学が減少していることが要因と考えられます。	小学校への団体見学利用の案内を行うなど、見学者増に向けた取組を進めます。

アクションプランの進捗

No.1 市民自主企画講座や施設ボランティアによる学習機会の提供

担当課：生涯学習振興課、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、中央図書館情報資料課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	市民自主企画講座や施設ボランティアによる学習機会の提供【継続】	- 市民自主企画講座の実施 13 講座 延受講者数 800 人 - 施設ボランティアによる講座の実施 31 講座 延受講者数 1,986 人	順調
2	市民自主企画講座の実施【継続】	青春プラネタリウム（高校生プラネタリウム）を実施（12 月） 受講者数 82 人	順調
3	加曽利貝塚博物館ボランティア【継続】	- ボランティア活動の実施 登録者数 59 人、解説回数 159 回 - モノレールまつり（10 月 21 日）、若葉区民まつり（11 月 5 日）、まなびフェスタ（12 月 2 日）などへの参加	順調
4	郷土博物館ボランティア【継続】	ボランティア活動の実施 登録者数 56 人 展示解説 1,079 回（延べ 2,799 人）	順調
5	地域おはなしボランティアの派遣【継続】	ボランティアの派遣 活動場所 25 箇所 活動回数 41 回 活動人数 122 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.1 市民自主企画講座や施設ボランティアによる学習機会の提供

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	新型コロナウイルス感染症対策の緩和により、受講者数は増加傾向にあります。	市民団体や施設ボランティアと協働して、講座を企画・実施します。
2	科学館の施設を活用し、市内高校（市立千葉高校・稲毛高校）の部活動と関連させた講座を実施することができました。	プラネタリウム投影機の更新があることから、高性能機器の利点を活用した講座内容が考えられないか、市内の各高校や青少年団体へ幅広く周知していきます。
3	来館者へ園内・館内の解説などを行ったほか、各種イベントにも出店し、加曽利貝塚の周知活動を行いました。	加曽利貝塚へ興味・関心を持ってもらえるよう、引き続き活動していきます。
4	ボランティアによる展示解説は概ね好評であり、来館者の理解がより深まったものと考えています。	令和6年度下半期から令和7年度上半期にかけて休館の上、展示リニューアルを行うためその間の活動は中止となりますが、リニューアル後もボランティアによる展示解説は理解促進に効果的なことから、継続して実施します。
5	育児サークル・保育施設・学校等の読み聞かせへの派遣を実施しました。	継続して実施します。

アクションプランの進捗

No.2 生涯学習ボランティアの活動場所の提供

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	生涯学習センター内にボランティア活動スペースを提供【継続】	・ボランティアセンター登録者紹介講座の実施 35 講座 延受講者数 3,126 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.2 生涯学習ボランティアの活動場所の提供

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	対面での開催やオンライン配信を活用し、ボランティア登録者紹介講座を実施しました。	対面とオンライン配信の併用によりボランティアセンター登録者紹介講座を実施し、生涯学習ボランティアの活動の場・情報発信の機会として、継続的に取り組みます。

アクションプランの進捗

No.3 千葉市版コミュニティ・スクールモデル校の拡充【拡充あり】

担当課：学事課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	モデル校の設置【拡充】	・モデル校（磯辺小）での活動を実施	順調

〈アクションプランの分析〉

No.3 千葉市版コミュニティ・スクールモデル校の拡充【拡充あり】

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	モデル校（磯辺小）ではコロナ禍と比較し大幅に活動の範囲を広げ、地域人材が教育活動に深く関わることで地域への理解や関心を深めることができました。 また、活動の充実を図るため文部科学省のマイスター派遣制度を活用し、モデル校の校内研修会や校長研修会で講演を行うことで、コミュニティ・スクールの制度の理解促進を図ることができました。 加えて、令和5年度より教職員の任用に関して、学校運営協議会から意見書を提出できることとなりました。	市全体へのコミュニティ・スクールの横展開を見据え、様々なタイプのモデル校を増やしていくこととし、令和6年度には新たに川戸小中一貫教育校をモデル校に指定し、磯辺小とは異なるモデルでの実施を予定しています。

アクションプランの進捗

No.4 学習成果の発表機会の提供

担当課：生涯学習振興課、障害者自立支援課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	まなびフェスタ・ボランティアフェア【継続】	・まなびフェスタを開催 (12月2日・3日) ・ボランティアフェアを開催 (11月18～26日)	順調
2	公民館文化祭【継続】	・公民館文化祭を44館で実施	順調
3	障害者作品展の開催【継続】	・作品展の開催 (10月6日～10月11日)	順調

〈アクションプランの分析〉

No.4 学習成果の発表機会の提供

No.	主な成果と考察	今後の取り組み等
1	まなびフェスタを開催し、気軽に生涯学習に触れる機会を提供しました。 ボランティアフェアを開催し、生涯学習及びボランティア活動に対する市民の理解促進、普及啓発を図りました。	まなびフェスタを開催し、生涯学習の意義や学びの楽しさを伝える機会として、継続的に取り組みます。 ボランティアフェアを開催し、生涯学習及びボランティア活動に対する市民の理解促進、普及啓発に取り組みます。
2	前年度は新型コロナウイルス感染症のため開催を見合わせていた公民館もありましたが、5類移行に伴い、全47館のうち隔年開催の3館を除く44館で文化祭が開催されました。	文化祭の運営を担っているクラブ連絡協議会等と引き続き連携、協力し、文化祭の開催を支援していきます。
3	令和5年度は、千葉県美術館9階市民ギャラリーにて、10月6日(金)～10月11日(水)の6日間開催しました。市政だよりへの掲載やチラシの配布、ポスターの掲示を通して広報活動を行った結果、297名の方にご来館いただき、また、展示作品数は令和4年度の175点より多い227点となりました。	より多くの方に作品をご覧いただくため、広報活動としてチラシの配布先やポスターの掲示場所の拡充等に取り組みます。

アクションプランの進捗

No.5 地域交流・多世代交流事業の実施

担当課：生涯学習振興課

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	地域交流・多世代交流事業の実施【継続】	・講座の実施 79 講座 延受講者 6,453 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.5 地域交流・多世代交流事業の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	世代に関わらず参加できるコンサート等のイベントの開催により、地域の住民が集い、交流をする場を提供しました。	引き続き、多世代の市民が参加できる講座等を実施していきます。

アクションプランの進捗

No.6 青少年交流事業の実施

担当課：生涯学習振興課、南部青少年センター

No.	事業名	令和5年度の実施状況	進捗状況
1	青少年交流事業の実施 【継続】	【生涯学習センター】 ・青少年関連講座の実施 27 講座 延受講者数 2,897 人 【南部青少年センター】 ・ゆめチャレンジの開催 (1月27日、28日) 延参加者数 661 人	順調

〈アクションプランの分析〉

No.6 青少年交流事業の実施

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	生涯学習センターでは、子どもチャレンジ教室、青少年の日フェスタ関連事業、子ども読書まつり関連事業など青少年・少年教育に関する学習機会を提供しました。また、高校演劇大会の支援を行いました。 南部青少年センターでは、学生ボランティアの協力を得ながら「ゆめチャレンジ」を開催し、「利用団体の成果発表の場」「異世代交流」「地域住民との交流の場」を参加者及び来場者に提供しました。	生涯学習センターでは、主催事業の実施により青少年・少年教育の学習機会として、高等学校演劇発表会の支援により学習成果の発表の場として、継続的に取り組めます。 南部青少年センターでは、学生ボランティアの協力を得ながら「ゆめチャレンジ」を開催し、「利用団体の成果発表の場」「異世代交流」「地域住民との交流の場」の提供を継続的に取り組めます。